NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事を読んで発表して考えよう

2．学校名

宮崎県日南市立南郷中学校

3．実践者名（代表者名）

矢野　真生

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　37人

6．単元（本時の学習課題）名

日本の広さを調べよう

7．目標（狙い）

日本の領域を把握しながら、新聞記事から日本を含め国家間には領土や領域に関する問題があり、それが影響することがある事例を知る。

8．評価の視点

新聞の感想を書き、疑問点を出し、他の生徒の意見を聞き、考えを広める。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第3章　日本のすがたとさまざまな地域(4時間)の第2時

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

日本の広さを調べよう
1.前回までのワーク確認を行う
2.北方領土(63%)、竹島(0%)聞いたことがある言葉として提示する。
3.本時は日本の領土について学習することを確認する。
「日本の領域はどこまで広がっているのか」
4.日本の最東端・最西端・最南端・最北端は何を見れば分かるか質問する。
5.確認する。
6.200海里経済水域を確認する。
7.竹島・尖閣諸島(魚釣島)を確認する。
8.竹島の新聞記事を見ての感想を発表する。
9.昨年7月の竹島問題での新聞記事を読む。
10.本時及び本単元のまとめをする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

他の生徒の意見を知りたい、もしくは内容を知りたいという意見。分からないことが出てきたので自分で調べたという感想。竹島は日本なのか韓国なのか知りたいという感想が多かった。領土問題とは、というところまではいけなかったので、事後に世界にある領土問題を補助で出した。

12．成果と課題

3種類の新聞記事を分担して読んで感想を書いたので、竹島問題で日韓関係が様々な形でうまくいかなくなる状況を知ることができた。また、地理の学習の内容である領域というものの国家のあり方と結びつけて考えることができた。なぜ、沖ノ鳥島などの護岸工事をするのか、経済水域などについても知識の深化を図ることが領土問題の一端を記事を使って学習させることで効果があった。授業以外の活動にも広げていく必要があり、他教科などとの連携を図りたい。